

# 岐阜農林事務所の普及活動状況

平成26年3月31日現在

## 今月の重点活動

### ■秋冬ブロッコリー **27年産に向けて戦略会議始動**

3月6日、JAぎふブロッコリー生産連絡協議会では役員会を開催し、出荷実績が報告された。農業普及課からは品種試験の結果と先進地視察（香川・徳島）の報告を行った。

また、3月18日には、関係機関による打ち合わせを行い出荷時期や栽培品種、面積拡大に向けた方策など27年度の振興方針について協議した。農業普及課からは育苗管理の改善点や収量及び品質向上を目的とした肥料試験の実施について説明した。



【協議会役員会】

## 活力ある新産地づくり

### ■アスパラガス **自動選別機を導入**

3月19日、本巣市のもとすファームに、アスパラガスの自動選別機（O社製）が導入され、アスパラガスの出荷作業が行われている。

アスパラガスの収穫・出荷作業には、多くの人手を要するため、農業普及課では、これら作業を効率化できる自動選別機の導入を働きかけ、この度導入が実現した。

自動選別機は、アスパラガスをカッターで長さ25センチに切り揃え、高精度の秤で1本ずつ重量選別できる。これにより作業員2～3名で1時間当たり約8千本の処理が可能となり、省力化に大きく貢献している。



【選別機の稼働】

## 売れる農畜産物づくり

### ■えだまめ **新規栽培者向け研修会の開催**

3月10日、JAぎふ黒野支店において、新規就農者及び就農5年未満のえだまめ生産者を対象に、栽培研修会を開催した。

農業普及課からは、えだまめの栽培管理のポイント、農薬の適正使用、GAPの取り組みと農作業安全（農作業事故事例など）について指導した。

参加者した生産者からは、今後も栽培技術や農作業安全などに関する情報提供をして欲しいとの要望が出された。



【栽培研修会】

### ■小麦 **生育調査と追肥指導**

3月になり穂肥施用時期に入ったため、農業普及課では、各地の麦の生育状況を把握し追肥指導を行った。

小麦の生育は葉色の低下も少なく概ね順調に推移しているが、今年も岐阜市、羽島市、本巣市においてコムギ縮萎病の発症が確認されている。農業普及課では、農業技術センターと連携し、減収軽減対策としての追肥試験を3月16日から岐阜市、羽島市、本巣市で実施している。



【追肥ほ場での葉色調査】

## 戦略的な流通・販売

### ■えだまめ 産地振興プロジェクトの取り組み開始

3月19日、JAぎふ島支店において、JAぎふえだまめ部会役員会が開催された。

農業普及課からは、産地戦略会議で決定したえだまめの産地振興プロジェクトの内容を説明し、関係機関が一丸となって産地振興を進めていくことを確認した。



【えだまめ部会役員会】

## 多様な担い手の育成・確保

### ■女性農業者 第2回わかばマーク女性農業者研修会

3月4日、本巣市の糸貫ぬくもりの里において、第2回わかばマーク女性農業者研修会を開催し、若手の女性農業者8名が参加した。午前中は、出荷が始まった春芽のアスパラガスを使った料理講習会を、午後は、SNSを活用した農業者同士の繋がり方について、女性農業アドバイザー2名を迎え、意見交換会を行った。

農業普及課では、今後も研修会の開催、運営などを通じて、若い女性農業者の能力向上を支援していくこととしている。



【料理講習会】

### ■中山間地域 集落営農の組織化支援

3月4日、山県市青波地区で進めている中山間地域の集落営農組織化メンバーが、同じ中山間地域で集落営農の法人化が進んでいる先進地の白川町上佐見地区を視察した。青波地区よりも1筆サイズは大きいものの、数mもある畦畔を抱えた水田で営農が行われている状況に、視察メンバーは食い入るように見て、聞いていた。農業普及課では、当該市町や法人組織代表者と視察に関する調整を担ってきた。



【現地説明】

## 魅力ある農村づくり

### ■うすずみファーム 27年度は加工を含めた品目導入

3月20日、JAぎふ北方支店において、うすずみファームの平成27年度作付計画を検討した。新規作目や作業体系、作付ほ場等を確認し、根尾地区の加工品としても使える、熊笹、エゴマ、弘法いも等を含む作付計画を立てた。また、農産物加工も営農計画に含まれており、今後の作目選定に生かせるよう各作目の成果の検証を行うこととした。農業普及課では、作付体系の提案・各品目の栽培指導等を行っている。



【能郷のほ場】

## 県民みんなで育む農業・農村

### ■担い手組織 担い手リーダー各団体総会を開催

3月13日に岐阜地域指導農業士連絡協議会が、3月10日には岐阜地域青年農業士連絡協議会が、3月11日には岐阜県女性農業経営アドバイザー岐阜ブロックがそれぞれ総会を開催した。指導農業士会では来年度の全国農業担い手サミットへの協力の確認、青年農業士会でも全国農業担い手サミット準備委員会への参画に向けた役員増員を、女性農業経営アドバイザーでは食農教育・男女共同参画への思い等が語られた。

農業普及課では、引き続き各団体と連携して活動を進めていくこととしている。



【退任するアドバイザーを囲んで】